

<http://language.sakura.ne.jp/dhlsj/>

日本ロレンス協会第 43 回大会（2012.6.16-17, 成城大学）報告

1. 6月16日（土）

武藤会長による「開会の辞」で成城大学における日本ロレンス協会第 43 回大会は幕を開けました。



2. 戸部順一先生（成城大学文芸学部長）からご挨拶いただきました。

総合司会は、成城大学の木下開催校委員です。



3. 受付等は成城大学学生スタッフの皆さんにご協力いただきました。



4. 二つの研究発表があり、興味深い内容に質疑応答の時間が足りませんでした。





5. 本大会のテーマ「ロレンス文学を発信する」の第1企画：シンポジウム「ロレンスを翻訳する」では、海千山千のベテラン・ロレンシアンにより翻訳の極意が明かされました。





6.

6月17日（日）

霜鳥会計担当の任期満了により、事務局を支えてきた名(迷?)コンビも本日限りです。



7. 「ロレンス文学を発信する」第2企画第1弾は、ワークショップ『『ホルロイド夫人、夫を亡くす』新訳リーディング公演』でした。まずは、翻訳・演出も担当いただいた小田島・企画コーディネーターによるイントロダクションです。



8. いよいよ新訳リーディング公演『ホルロイド夫人、夫を亡くす』の開演です。
会場にはすでに陶酔の予感が・・・ 出演者情報は[こちら](#)。





会場を感動で包み込んだこの度のリーディング公演は、ロレンス協会大会の歴史における意義深く画期的な出来事でした。

出演を快諾くださった劇団青年座ならびに新国立劇場研修所の皆さまに、この場をお借りして改めて厚く御礼申し上げます次第です。

9. 第2企画第2弾「シンポジウム：『ホルロイド夫人、夫を亡くす』をめぐって」では、主要な役を演じていただいた松熊氏、大家氏、綱島氏にもパネルに加わっていただき、まず糸多会員がこの劇に関する研究発表を行いました。その後、小田島会員の司会で、興奮さめやらぬフロアとパネル間の質疑応答が午後1時過ぎまで続きました。



本大会は盛会裏に幕を閉じました。皆さん、本当にありがとうございました。次年度の第44回大会も6月開催予定です。大会会場の北九州市立大学にぜひご参集ください。